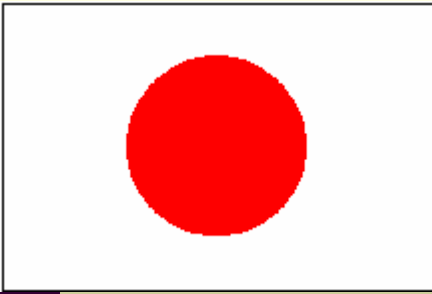




## 我が国によるサマーワ支援 総括と今後の展望

(平成18年9月)

我が国のサマーワに対する陸上自衛隊のイラク人道復興支援活動及び政府開発援助(ODA)に関しては、我が国は、2年半に及ぶ以下のような支援活動を通じて、具体的な成果を挙げてきており、現地の人々からも高い評価を得ています。我が国政府としては、サマーワに引き続き配慮しつつ、今後ともイラク政府の主体的な復興努力を支援していく考えです。



# 総括



## 自衛隊派遣前

サマーワを中心とするムサンナー県：  
開発から取り残され、住民の基礎的な生活基盤が著しく疲弊、国内で最も貧しく、最も失業率が高い県

我が国の自衛隊とODAとの「車の両輪」による支援：  
自衛隊による人道復興支援活動 + 2億ドル以上の政府開発援助 (ODA)



- 【優先課題】
- ✓安全な飲料水の提供
  - ✓電力供給の安定化
  - ✓基礎的な医療サービスの提供
  - ✓衛生状態の改善
  - ✓教育環境の改善
  - ✓生活道路の確保
  - ✓雇用機会の創出
  - ✓安全な市民生活の確保
  - ✓人材育成(本邦研修を通じた親日家の養成)

## 現在

県民の基礎的な生活基盤が再建されつつあり、サマーワ市内は賑わいを見せ、経済活動が拡大

## 今後

イラク側当局が行政能力を向上させ、県民の生活水準向上のため自律的かつ持続的に取り組むことが期待されている

- ✓地元住民及びイラク中央政府から高い評価
- ✓国際社会から復興支援の成功例として評価



# 主な支援活動

～切れ目無く拡大基調で進展～



## 陸自の人道復興支援活動

### ➤ 給水支援活動

- ✓ 平成17年2月まで宿营地付近で浄水(ODAにより供与した給水車に配水。合計で約53,500tを給水)

### ➤ 医療支援活動

- ✓ 平成16年2月から医官による医療支援活動を計277回実施(ODAにより供与した医療器材を用いた技術指導等)

### ➤ 公共施設の復旧・整備活動

- ✓ 学校: 36校補修
- ✓ 道路: 31ヶ所補修(約36kmはODAによりアスファルト舗装)
- ✓ その他: 66ヶ所補修(診療所、浄水場、グラウンド、ウルク遺跡外柵、養護施設、低所得者住宅等)

## 政府開発援助(ODA)

< 2億ドル以上の無償資金を投入(イラク全国では15億ドル)  
:人口比でイラク全体の約2%のムサンナー県に対し、対イラクODA全体の13%以上を供与 >

### ➤ 第1段階: 緊急の人道支援

- ✓ 給水車の供与、仏NGOの給水活動支援開始、医薬品・医療品等の供与

### ➤ 第2段階: 支援の幅を拡大

- ✓ 浄水機・給水タンク、医療器材・救急車、ゴミ・下水処理機材・特殊車両、警察車両等の供与、道路舗装、小中学校・高等教育施設の再建、雇用創出、警察訓練

### ➤ 第3段階: 大型案件の開始

- ✓ サマーワ大型発電所建設(平成18年6月に着工式実施、19年中に完了予定)、サマーワ総合病院の改修(18年10月完了予定)、円借款による支援(灌漑、橋梁)の決定

### ➤ 人材育成支援: 親日家の養成

- ✓ 医療、地方自治、警察、選挙管理、報道等の分野で80名以上を本邦研修



# 主な支援成果

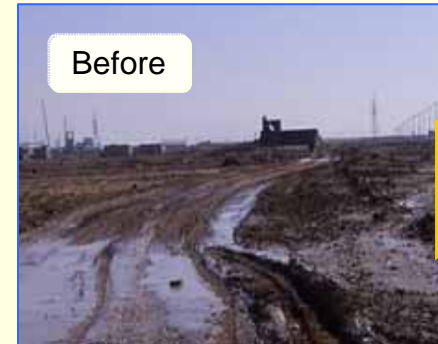


Before



After

陸自により補修された  
アル・ジョラーン小学校



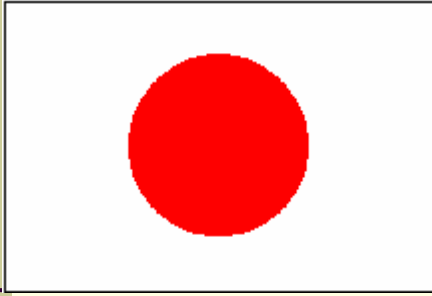
Before



After

陸自とODAにより補修・舗装  
されたルメイサ市内道路

- 電力、給水、医療・保健、教育、輸送等の各方面で県民の基礎的な生活基盤が再建されつつあり、雇用機会は拡大(以下は一部、陸自の支援を含む)。
  - ✓ 電力: 県全体の総需要(200MW)の約1/3以上を供給(サマーワ大型発電所の完工後)
  - ✓ 給水: 約1,189万人分(一人あたりの水の必要量を4.5リットル/1日と計算)の安全な飲料水を提供
  - ✓ 保健・医療: サマーワ母子病院での新生児死亡率が1/3減少
  - ✓ 教育: 県内全生徒数約12万人の約30%の教育環境を改善
  - ✓ 輸送: 約130kmの生活道路を補修・舗装し、県民の日常生活の利便性を向上
  - ✓ 雇用: 県全体の推定失業者数約3.5万人に対し、一日平均3,500人の雇用を提供  
延べ191万人・日程度の雇用を創出
- サマーワ市内は以前より賑わいを見せ、清掃や市内整備で美化され、住宅建設が進み、セメント工場が稼働開始するなど、経済活動も拡大。



# 今後の展望



## 【イラク復興支援】

- イラク新政府発足を受け、イラク政府の主体的な復興努力を支援し、我が国の国益に資する日・イラク関係の発展を目指す
- サマーワに引き続き配慮しつつ、国民和解促進の観点からも、地域バランスに一層配慮
- 無償資金による当面の支援から円借款中心の支援に移行

## 【サマーワ支援】

- 現在取り進めている無償資金協力事業の着実な実施
- 表明済みの円借款事業（橋梁建設、灌漑施設改善）の実施
- 平成19年3月頃まで国連機関経由で更に延べ約91万人・日の雇用を創出
- 人材育成・行政能力向上のための研修事業を継続

# 陸自派遣部隊撤収時の措置について

## 1. 医療技術指導用器材の供与

ムサンナー県における医療の中心である4病院(サマーワ総合病院等)では、医療器材が不足していたため、陸自派遣部隊が撤収する際に、ムサンナー県保健局からの要請を受け、医療器材(例:超音波診断装置、患者監視装置、心電解析装置、X線撮影装置、尿自動分析装置等94品目)を無償譲渡した。

引き渡しにあたっては、使用方法の説明や、英文説明書の添付など、譲渡器材が有効活用されるよう配慮した。

## 2. サマーワ宿営地跡地のイラク陸軍への引き渡し

陸自派遣部隊のサマーワ宿営地については、宿営地を適正に管理・運営する能力等を勘案し、ムサンナー県の治安維持を担当するイラク陸軍第10師団に引き渡した。

イラク陸軍からは、同宿営地を現地の復興及び安定のために適切に使用する旨の意思表示がなされている。

# サマーワにおけるODA(草の根・人間の安全保障無償資金協力)について

## 1. イラク・サマーワに対する草の根・人間の安全保障無償資金協力

実績: 計59件、約34.7億円

NGO、地方公共団体、教育・医療機関等の非営利団体が被供与団体。

分野: 市民生活基盤の再建にとって重要な給水、医療、道路復旧・整備等を対象。

草の根レベルのニーズに適切に対応できる機動的な援助として、イラク国民を始め各方面から高く評価されている。

## 2. 実施上の留意点

申請団体の実施体制(財政状況、予算、プロジェクトの実施及び維持管理能力等)の適正が確保され、援助の効果が確実に発現することを予め審査の上資金を供与。

資金供与後も案件の執行状況や実施状況のモニタリングを行い、問題が生じた場合は、被供与団体に対して対応を指導。日本側としても出来る限りの問題解決のための支援を実施。